

携帯電話とカーナビゲーションシステム間を連携する規格 「フォトリモ@ナビ Ver1.0」を開発

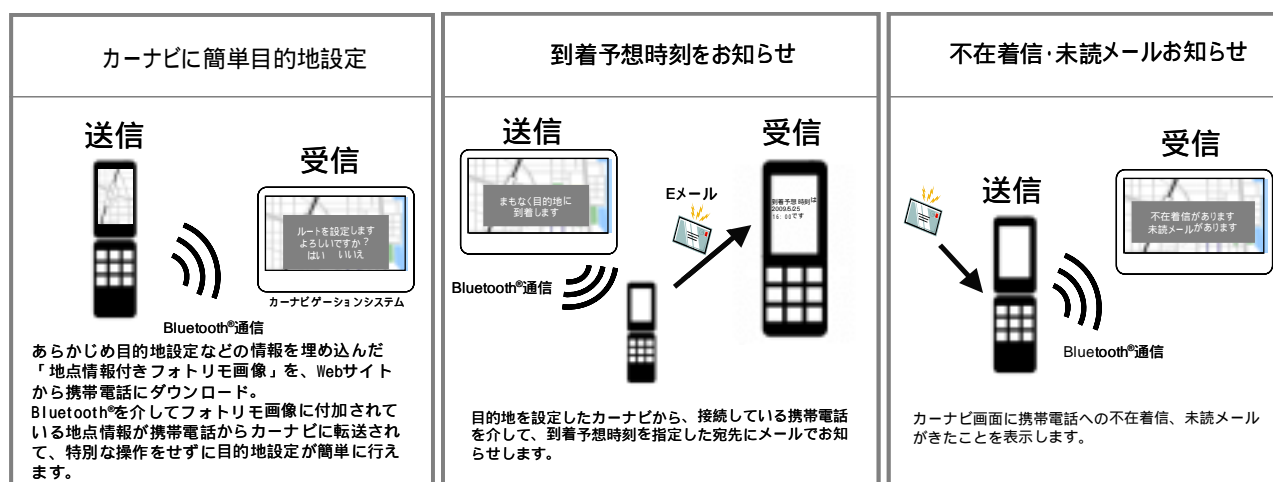
シャープ株式会社(本社：大阪市阿倍野区、代表取締役社長兼COO：片山幹雄 以下、シャープ)とパイオニア株式会社(本社：東京都目黒区、代表取締役社長：小谷 進 以下、パイオニア)は、携帯電話とカーナビゲーションシステム間のシームレスな連携を実現する規格「フォトリモ@ナビ Ver1.0」を共同開発いたしました。

本規格のベースとなる「フォトリモ」は、「フォト(画像)でリモートコントロール(制御)」を意味し、JPEG形式の画像データに制御情報を付加することで、デジタル機器を操作する仕組みです。2007年にシャープが開発し、シャープ製携帯電話や液晶テレビAQUOSに採用しています。一方、パイオニアは業界に先駆けて、カーナビゲーションシステムを核とした情報ネットワークの仕組みを構築してまいりました。

このたび、シャープの「フォトリモ」の技術と、パイオニアのカーナビゲーションシステムを核とした情報ネットワークの技術を融合し、携帯電話とカーナビゲーションシステム間をシームレスに連携する規格「フォトリモ@ナビ」を共同開発いたしました。この「フォトリモ@ナビ」を活用することで、たとえば、携帯電話のWebサイトで得たドライブ情報を自動的にカーナビゲーションに送って目的地を設定したり、カーナビゲーションで計算された到着予想時刻などを、携帯電話を介してメール送信できるなど、様々な連携が可能となります。

今後両社は、自社製品への搭載だけでなく、幅広い機器への「フォトリモ@ナビ」の採用に向けて、広く本規格の普及活動を推進してまいります。

<本規格の利用イメージ>



・Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。